

令和 6 年

消 防 統 計

乙訓消防組合消防本部

令和6年消防統計目次

消防統計の概要	・ ・ ・	1 ～ 5
1 火災統計		
(1) 火災概要	・ ・ ・ ・ ・	6
(2) 市町別概要	・ ・ ・ ・ ・	7
(3) 出火原因別の火災件数と損害額	・ ・ ・ ・ ・	8
(4) 月別状況	・ ・ ・ ・ ・	9
(5) 火災種別損害額	・ ・ ・ ・ ・	9
(6) 覚知方法別件数	・ ・ ・ ・ ・	9
(7) 時間帯別件数	・ ・ ・ ・ ・	10
(8) 曜日別件数	・ ・ ・ ・ ・	10
2 その他災害統計		
(1) その他災害種別の件数	・ ・ ・ ・ ・	11
(2) 市町別その他災害種別の件数	・ ・ ・ ・ ・	11
(3) 覚知方法別件数	・ ・ ・ ・ ・	12
(4) 時間帯別件数	・ ・ ・ ・ ・	12
(5) 曜日別件数	・ ・ ・ ・ ・	13
3 救助統計		
(1) 事故種別出場件数及び活動件数	・ ・ ・ ・ ・	14
(2) 市町別出場件数	・ ・ ・ ・ ・	15
(3) 事故種別救出人員	・ ・ ・ ・ ・	16
(4) 発生場所別出場件数及び活動件数	・ ・ ・ ・ ・	17
4 救急統計		
(1) 事故種別出場件数及び搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	18
(2) 年齢区分別事故種別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	19
(3) 事故種別傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	19
(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	20
(5) 傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	20
(6) 市町別出場件数	・ ・ ・ ・ ・	21
(7) 消防署別出場件数	・ ・ ・ ・ ・	22
(8) 救急隊員が行った応急処置状況	・ ・ ・ ・ ・	23

消防統計の概要

1 火災統計

(1) 出火状況

ア 令和6年の出火件数は35件で、前年に比べ9件の増加となっている。

また、火災による死者は前年と変わらず0人となっている。

火災種別では、「建物火災」が20件で前年に比べ7件の増加、「林野火災」は0件で前年と同件数、「車両火災」は5件で3件の減少、「その他火災」は10件で5件の増加となっている。

〔1(1)火災概要〕

イ 市町別発生件数では、出火件数35件中、「向日市」が15件、「長岡京市」が15件、「大山崎町」が5件となっている。

〔1(2)市町別概要〕

ウ 月別の出火状況は、「9月」が6件で17.1%と最も多く、次いで「12月」が5件で14.3%、「1月」、「2月」、「4月」及び「6月」が各4件で11.4%、「3月」が3件で8.6%、「5月」及び「7月」が各2件で5.7%、「11月」が1件で2.9%の順となっている。

また、月別の損害額については、6月の27,416千円が最も多くなっている。

〔1(4)月別状況〕

エ 時間帯別件数は、「14時～16時」が7件と最も多く、次いで「10時～12時」が6件、「12時～14時」及び「16時～18時」が各5件、「8時～10時」が4件、「6時～8時」が3件、「18時～20時」が2件、「0時～2時」、「20時～22時」及び「不明」が各1件となっている。

〔1(7)時間帯別件数〕

オ 曜日別件数は、「日曜日」が9件と最も多く、次いで「火曜日」が7件、「金曜日」が5件、「月曜日」及び「木曜日」が各4件、「水曜日」及び「土曜日」が各3件となっている。

〔1(8)曜日別件数〕

(2) 出火原因

出火件数35件中、「たばこ」が6件と最も多く、次いで「こんろ」が5件、「電気機器」及び「配線器具」が各4件、「排気管」が2件、「ストーブ」、「電灯・電話等の配線」、「たき火」、「溶接機・切断機」及び「放火」が各1件となっている。

〔 1(3)出火原因別の火災件数と損害額〕

(3) 損害額

ア 損害額は、46,579千円となっており、前年に比べ4,724千円の増加となっている。内訳としては、「建物火災」による損害額が6,658千円の増加、「車両火災」は1,859千円の減少、「その他火災」は75千円の減少となっている。

〔 1(1)火災概要〕

イ 火災種別損害額では、「建物火災」が45,820千円で全体の98.4%となっており、次いで「車両火災」が563千円で全体の1.2%、「その他火災」が196千円で全体の0.4%となっている。

〔 1(5)火災種別損害額〕

(4) 覚知方法別件数

覚知方法別件数は35件中、「事後聞知」（消防が鎮火後に覚知したもの。爆発の場合は、消防機関が実際に出火又は再爆発の危険がなくなったと推定又は認定した時分が、覚知時分以前のもの）が15件で42.9%と最も多く、次いで「火災報知専用電話（携帯電話から）」が13件で37.1%、「火災報知専用電話（固定電話から）」（NTT加入電話を除く）が5件で14.3%、「加入電話（携帯電話から）」及び「その他」が各1件で2.9%となっている。

〔 1(6)覚知方法別件数〕

2 その他災害統計

(1) その他災害発生件数及び種別件数

その他災害の発生件数は20件で、前年の27件に比べ7件の減少となっている。また、災害種別の発生件数は、「交通」が12件、次いで「危険物」が7件、「その他」が1件となっている。

〔 2(1)その他災害種別の件数〕

(2) 市町別件数

市町別の発生件数は、「向日市」が11件、「長岡京市」が8件、「大山崎町」が1件となっている。

〔 2(2)市町別その他災害種別の件数〕

(3) 覚知方法別件数

覚知方法別の発生件数は、「火災報知専用電話（携帯電話から）」が7件で35.0%、次いで「その他」が5件で25.0%、「加入電話（固定電話から）」

が4件で20.0%、「火災報知専用電話(固定電話から)」が2件で10.0%、「火災報知専用電話(IP電話から)及び西日本高速道路」が各1件で5.0%となっている。

〔2(3)覚知方法別件数〕

(4) 時間帯別件数

時間帯別の発生件数は、「18時～20時」は6件と最も多く、次いで「16時～18時」が3件、「10時～12時」、「12時～14時」及び「不明」が各2件、「0時～2時」、「2時～4時」、「8時～10時」、「14時～16時」、「20時～22時」が各1件となっている。

〔2(4)時間帯別件数〕

(5) 曜日別件数

曜日別の発生件数は、「金曜日」が7件と最も多く、「土曜日」が4件、「水曜日」が3件、「火曜日」及び「木曜日」が各2件、「日曜日」及び「月曜日」が各1件となっている。

〔2(5)曜日別件数〕

3 救助統計

(1) 出場件数及び活動件数

救助活動の状況は、出場件数が78件、活動件数は62件で前年に比べると出場件数は7件の増加、活動件数は2件の増加となっている。

〔3(1)事故種別出場件数及び活動件数〕

(2) 市町別件数

出場件数を市町別でみると、「向日市」が32件、「長岡京市」が32件、「大山崎町」が12件、「その他の市町」には2件出場している。

〔3(2)市町別出場件数〕

(3) 救出人員

救出人員は62人で、前年に比べると3人増加している。また、事故種別の内訳は、「建物等による事故」が44人と最も多く、次いで「交通事故」及び「その他の事故」が各7人、「機械による事故」が3人、「ガス及び酸欠事故」が1人となっている。

〔3(3)事故種別救出人員〕

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

発生場所別出場件数の内訳は、「住居」が46件(うち活動あり45件)、次いで「その他の屋外」が16件(うち活動あり11件)、「その他の道路」

が7件（うち活動あり4件）、「高速道路国道」が4件（うち活動あり0件）、
「山岳」（うち活動あり1件）及び「その他の屋内」（うち活動あり1件）が
各2件、「その他」が1件（うち活動あり0件）となっている。

〔3(4)発生場所別出場件数及び活動件数〕

4 救急統計

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は7, 910件で前年に比べ32件の減少、搬送人員については7, 256人で前年に比べ95人の増加であり、1日あたりの出場件数は21.6件、搬送人員は19.8人となっている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(2) 事故種別

事故種別出場件数は、「急病」が5, 236件で全体の66.2%、次いで「一般負傷」の1, 454件で18.4%、「交通事故」486件で6.1%となっており、これらが全体の約9割を占めている。

〔4(1)事故種別出場件数及び搬送人員〕

(3) 年齢区分

ア 年齢区分別事故種別の搬送人員は、「急病」では搬送人員4, 874人中3, 257人が「高齢者」で66.8%、次いで「成人」が1, 203人で24.7%、「乳幼児」が278人で5.7%、「少年」が131人で2.7%となり、全体の半数以上を「高齢者」が占めている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

イ 「交通事故」では、搬送人員449人中249人が「成人」で55.5%、次いで「高齢者」が150人で33.4%、「少年」が39人で8.7%「乳幼児」が11人で2.4%となっている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

ウ 「一般負傷」では、搬送人員1, 331人中1007人が「高齢者」で75.7%、次いで「成人」の170人で12.8%、「乳幼児」の114人で8.6%、「少年」が40人で3.0%となっている。

〔4(2)年齢区分別事故種別搬送人員〕

(4) 傷病程度

傷病程度別搬送人員では、搬送人員7, 256人中3, 676人が「軽症」で50.7%になり約半数を占めている。

〔4(3)事故種別傷病程度別搬送人員〕

(5) 市町別出場件数

市町別出場件数では、「向日市」が2,913件で36.8%、「長岡京市」が4,196件で53.0%、「大山崎町」が757件で9.6%、「乙訓管外」が44件で0.6%となっている。

〔4(6)市町別出場件数〕

(6) 消防署別出場件数

消防署別出場件数では、「向日消防署」が2,613件で33.0%、「長岡京消防署」が2,522件で31.9%、「長岡京消防署東分署」が1,369件で17.3%、「大山崎消防署」が1,406件で17.8%となっている。

〔4(7)消防署別出場件数〕

※ 本文中のパーセント(%)表示の数値については、小数点第2位を四捨五入しているため、実際の数値とは合致しない場合があります。

1 火災統計

(1) 火災概要

区	分	単 位	令和6年	令和5年	増減(△印減)
出火件数	建物		20	13	7
	林野		0	0	0
	車両		5 (2)	8 (4)	△ 3 (△ 2)
	その他		10	5	5
	計	件	35 (2)	26 (4)	9 (△ 2)
焼損棟数	全焼		4	1	3
	半焼		2	1	1
	部分焼		7	4	3
	ぼや		20	7	13
	計	棟	33	13	20
焼損床面積		m ²	347	195	152
焼損表面積		m ²	93	16	77
林野焼損面積		a	0	0	0
死者		人	0	0	0
負傷者		人	6	1	5
り災世帯数	全損		3	2	1
	半損		1	0	1
	小損		19	9	10
	計	世帯	23	11	12
り災人員		人	45	23	22
損害額	建物		45,820	39,162	6,658
	林野		0	0	0
	車両		563 (539)	2,422 (717)	△ 1,859 (△ 178)
	その他		196	271	△ 75
	計	千円	46,579 (539)	41,855 (717)	4,724 (△ 178)
出火率		件/人口1万人	2.2	1.7	0.5

※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

※ ()内は高速道路の火災を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(2) 市町別概要

区 分			単 位	向日市	長岡京市	大山崎町
出火件数	建物			10	8	2
	林野			0	0	0
	車両			0	3	2 (2)
	その他			5	4	1
	計		件	15	15	5
焼損棟数	全焼			2	0	2
	半焼			2	0	0
	部分焼			3	2	2
	ぼや			10	7	3
	計		棟	17	9	7
焼 損 床 面 積			m ²	199	4	144
焼 損 表 面 積			m ²	45	3	45
林 野 焼 損 面 積			a	0	0	0
死 者			人	0	0	0
負 傷 者			人	3	2	1
り災世帯数	全損			2	0	1
	半損			1	0	0
	小損			12	4	3
	計		世帯	15	4	4
り 災 人 員			人	25	10	10
損害額	建物			18,270	147	27,403
	林野			0	0	0
	車両			0	24	539 (539)
	その他			0	187	9
	計		千円	18,270	358	27,951 (539)
出 火 率			件/人口1万人	2.7	1.8	3.0

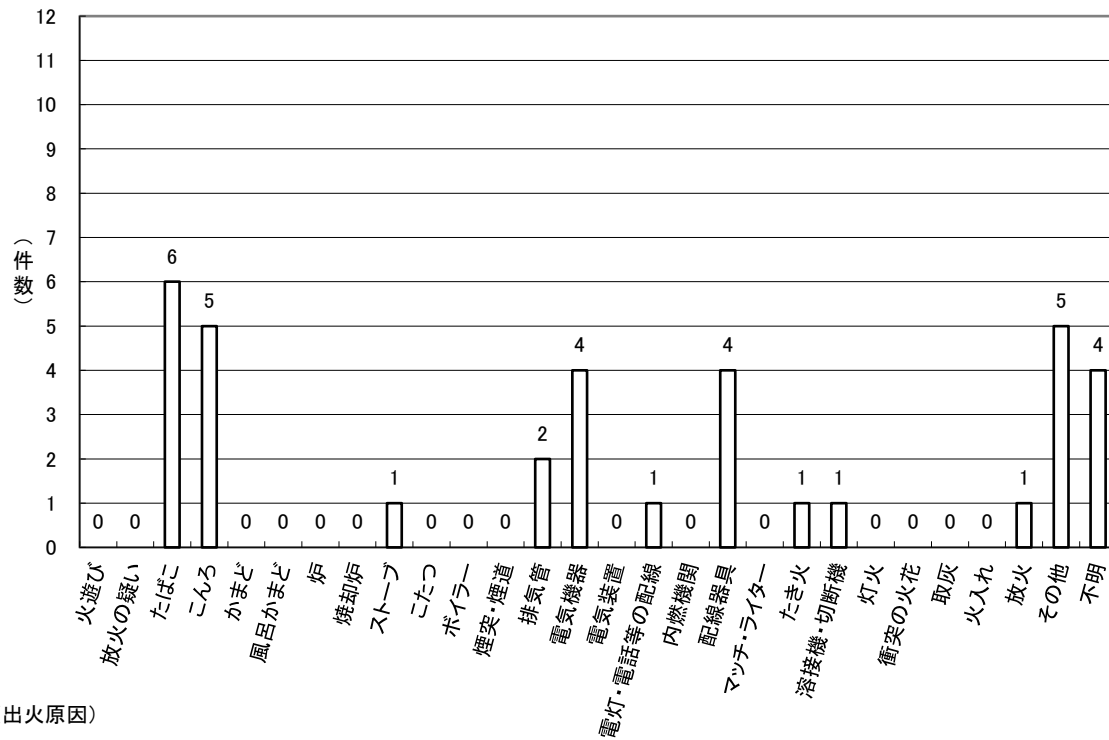
※ 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

※ 出火率とは、人口1万人当りの出火件数をいう。

※ ()内は高速道路の火災を表す。

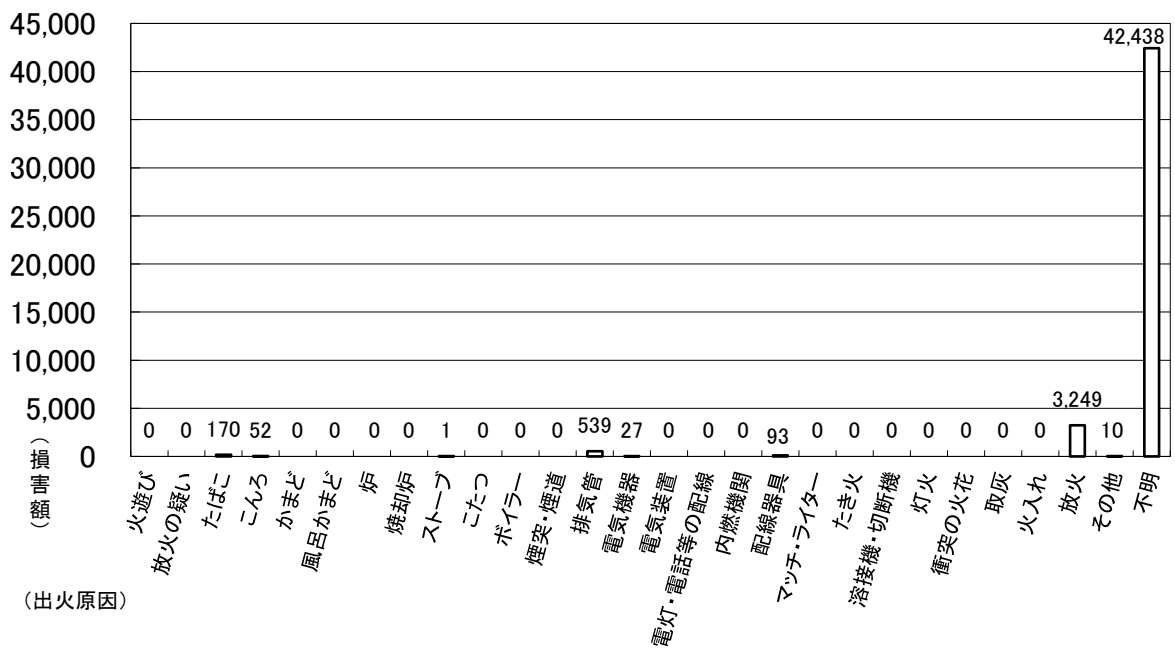
(3) 出火原因別の火災件数と損害額

火災件数(件)



(出火原因)

損害額(千円)



(出火原因)

(4) 月別状況

月別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
1	月	4	11.4	7,807	16.8
2	月	4	11.4	179	0.4
3	月	3	8.6	259	0.6
4	月	4	11.4	68	0.1
5	月	2	5.7	0	0.0
6	月	4	11.4	27,416	58.9
7	月	2	5.7	1	0.0
8	月	0	0.0	0	0.0
9	月	6	17.1	3,621	7.8
10	月	0	0.0	0	0.0
11	月	1	2.9	1	0.0
12	月	5	14.3	7,227	15.5
合 計		35	100.0	46,579	100.0

※ 割合については、小数点第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(5) 火災種別損害額

火災種別	区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
建 物 火 災		20	57.1	45,820	98.4
林 野 火 災		0	0.0	0	0.0
車 両 火 災		5	14.3	563	1.2
そ の 他 の 火 災		10	28.6	196	0.4
合 計		35	100.0	46,579	100.0

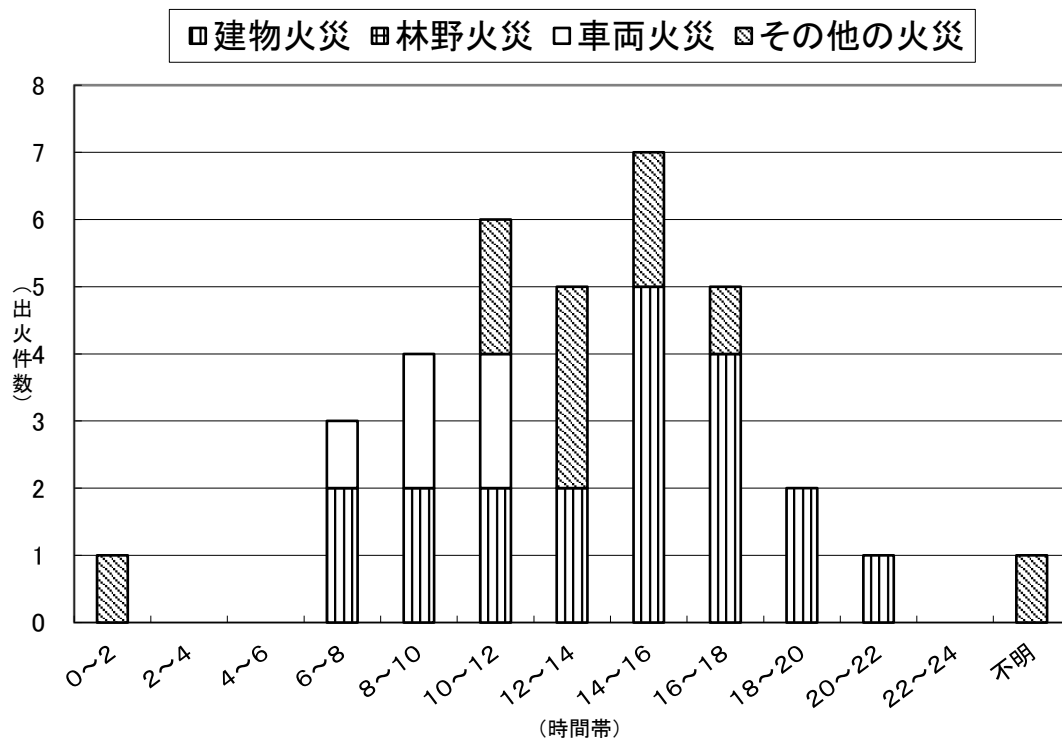
※ 割合については、小数点第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(6) 覚知方法別件数

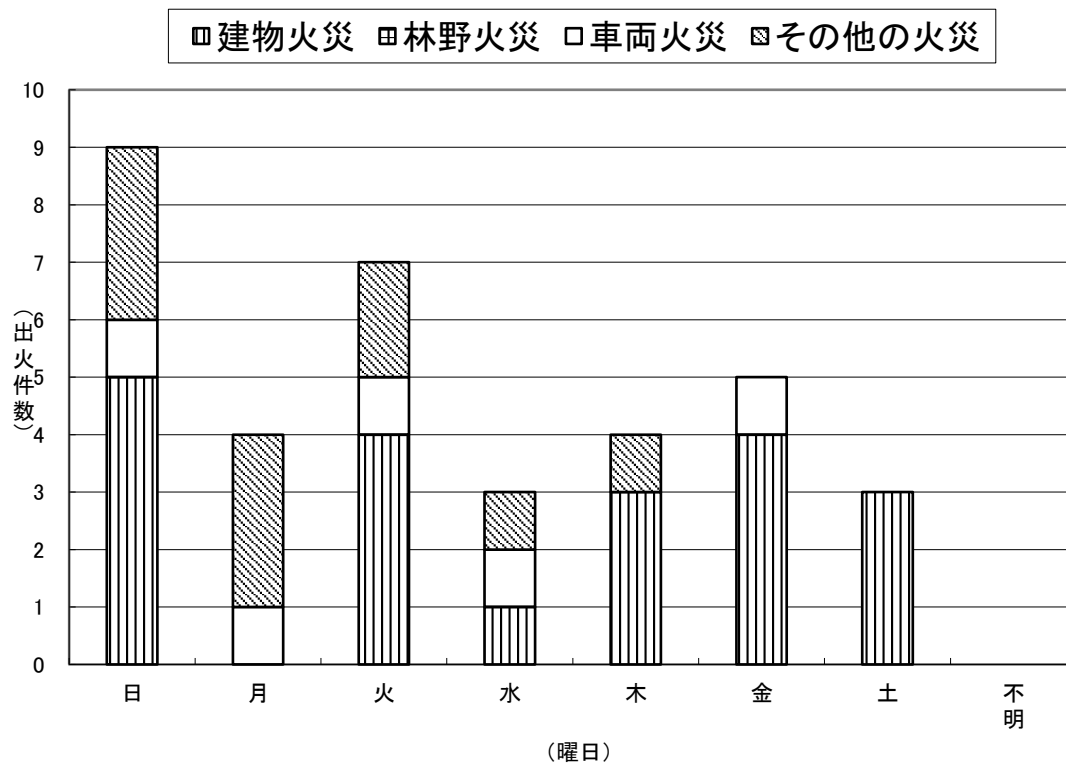
覚知方法	区分	出火件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話を除く)		5	14.3
火災報知専用電話 固定電話から(NTT加入電話)		0	0.0
火災報知専用電話 携帯電話から		13	37.1
加入電話(固定電話から)		0	0.0
加入電話(携帯電話から)		1	2.9
警察電話		0	0.0
駆け付け通報		0	0.0
事後聞知		15	42.9
そ の 他		1	2.9
合 計		35	100.0

※ 構成比については、小数点第2位を四捨五入しているため合計と合致しない場合があります。

(7) 時間帯別件数



(8) 曜日別件数



2 その他災害統計

(1) その他災害種別の件数

種 別 \ 年 別	令和6年	令和5年	増減(△印減)
交 通	12	19	△ 7
水 難	0	0	0
自 然	0	0	0
機 械	0	0	0
危 険 物	7	7	0
建 物 等	0	0	0
ガ ス ・ 酸 欠	0	1	△ 1
爆 発	0	0	0
そ の 他	1	0	1
計	20	27	△ 7

(2) 市町別その他災害種別の件数

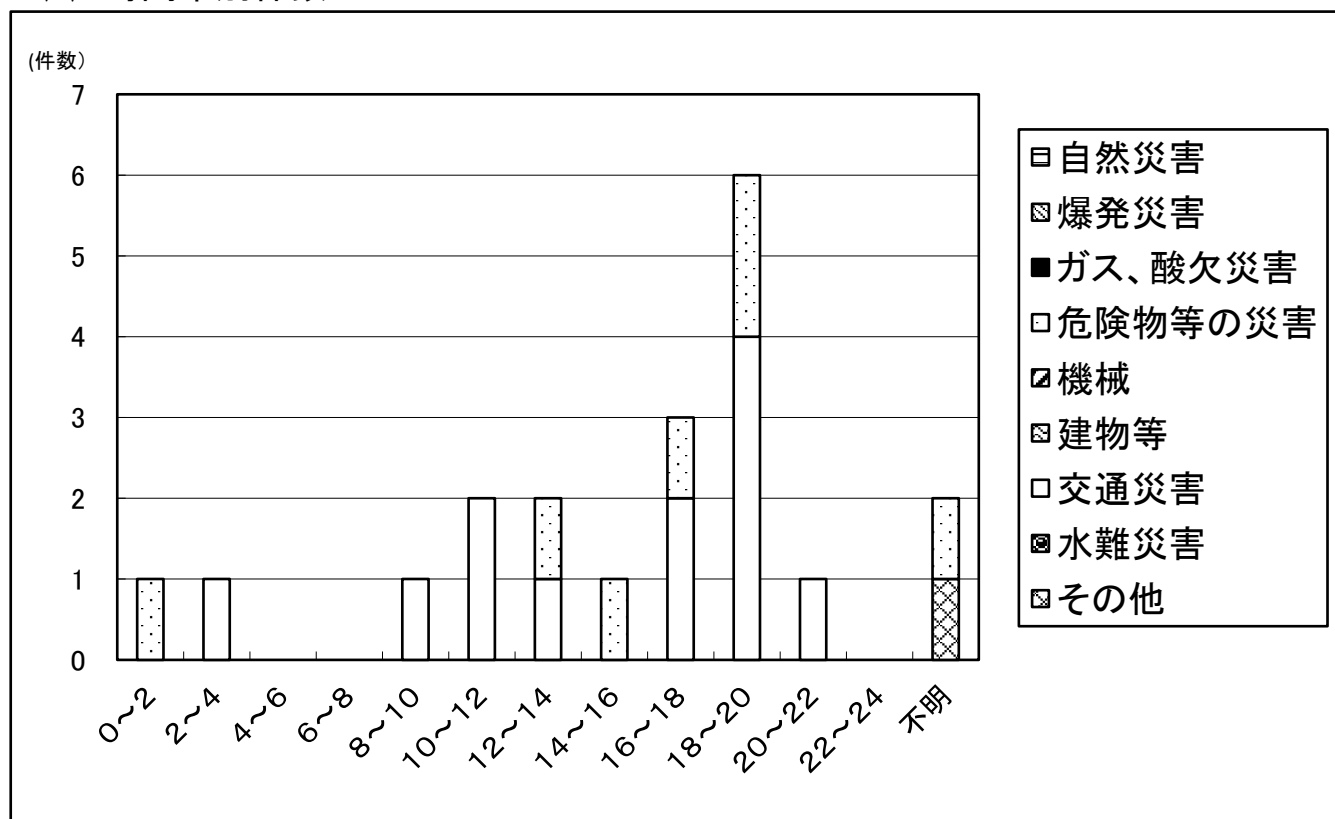
種 別 \ 市 町 別	向日市	長岡京市	大山崎町
交 通	5	6	1
水 難	0	0	0
自 然	0	0	0
機 械	0	0	0
危 険 物	5	2	0
建 物 等	0	0	0
ガ ス ・ 酸 欠	0	0	0
爆 発	0	0	0
そ の 他	1	0	0
計	11	8	1

(3) 覚知方法別件数

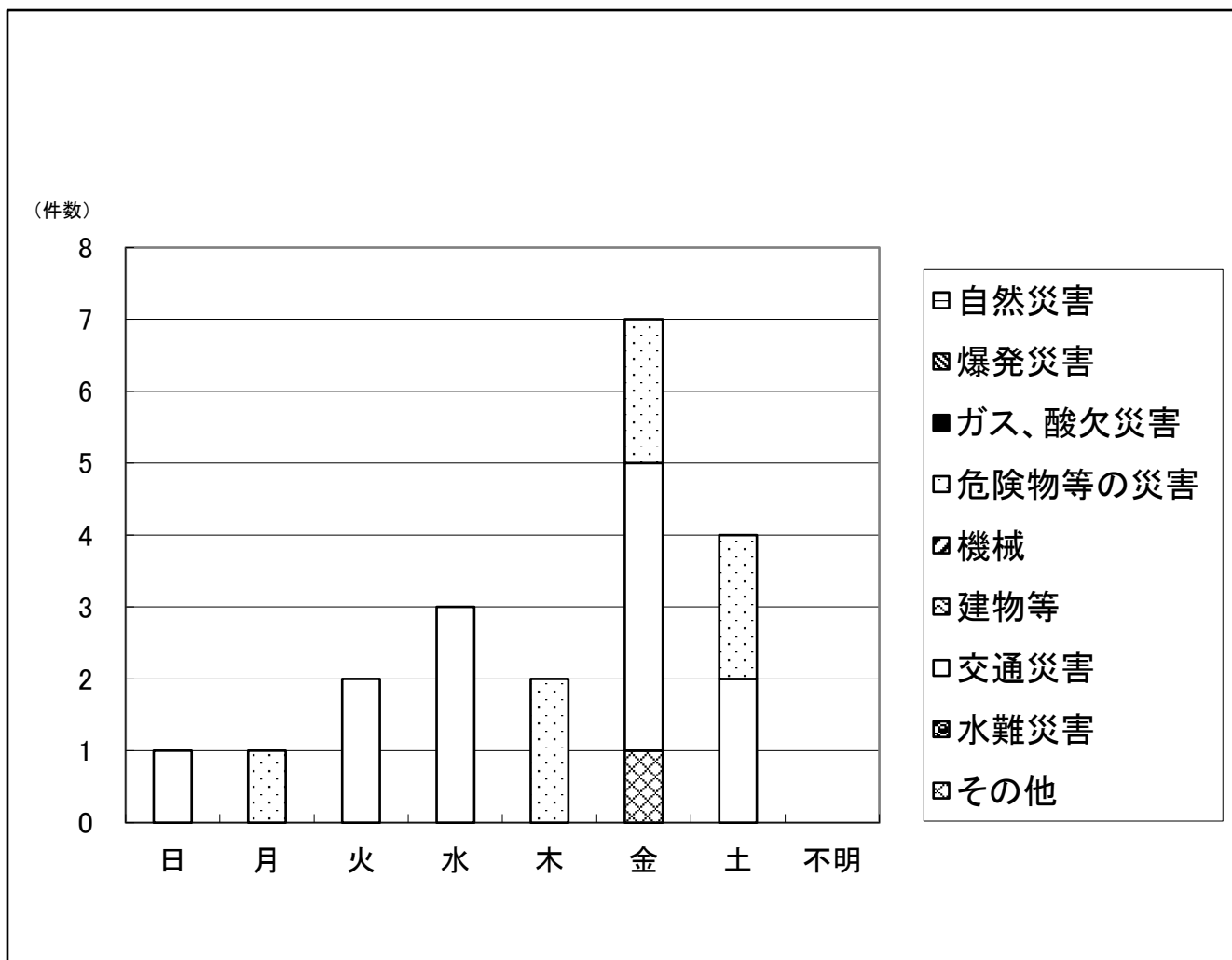
覚知方法	区分	災害件数 (件)	構成比 (%)
火災報知専用電話(固定電話から)		2	10.0
火災報知専用電話(携帯電話から)		7	35.0
火災報知専用電話(IP電話から)		1	5.0
加入電話(固定電話から)		4	20.0
加入電話(携帯電話から)		0	0.0
警 察 電 話		0	0.0
駆 け 付 け 通 報		0	0.0
事 後 聞 知		0	0.0
西日本高速道路		1	5.0
そ の 他		5	25.0
合 計		20	100.0

※ 構成比については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

(4) 時間帯別件数



(5) 曜日別件数



3 救助統計

(1) 事故種別出場件数及び活動件数

事故種別 \ 件数区分		令和6年		令和5年		増減(△印減)	
		出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
火 災	建 物	2 (0)	2 (0)	4 (0)	4 (0)	△ 2 (0)	△ 2 (0)
	建物以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故		18 (4)	7 (0)	15 (3)	8 (2)	3 (1)	△ 1 (△ 2)
水 難 事 故		0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	△ 2 (0)	△ 2 (0)
風水害等自然災害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故		3 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)
建物等による事故		45 (0)	45 (0)	31 (0)	31 (0)	14 (0)	14 (0)
ガス及び酸欠事故		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故		9 (0)	6 (0)	18 (0)	14 (0)	△ 9 (0)	△ 8 (0)
計		78 (4)	62 (0)	71 (3)	60 (2)	7 (1)	2 (△ 2)

※ ()内は高速道路救助出場件数を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(2) 市町別出場件数

市町別 事故種別		向日市	長岡京市	大山崎町	その他の市町	計
火 災	建 物	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
	建 物 以 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故		10 (0)	3 (1)	3 (1)	2 (2)	18 (4)
水 難 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故		2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
建 物 等 に よ る 事 故		16 (0)	23 (0)	6 (0)	0 (0)	45 (0)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故		4 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	9 (0)
計		32 (0)	32 (1)	12 (1)	2 (2)	78 (4)

※ ()内は高速道路救助出場件数を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(3) 事故種別救出人員

事故種別		救 出 人 員		
		令和6年	令和5年	増 減 (△ 印 減)
火 災	建 物	0 (0)	1 (0)	△ 1 (0)
	建 物 以 外	0 (0)	0 (0)	0 (0)
交 通 事 故		7 (0)	9 (3)	△ 2 (△ 3)
水 難 事 故		0 (0)	2 (0)	△ 2 (0)
風 水 害 等 自 然 災 害		0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 に よ る 事 故		3 (0)	0 (0)	3 (0)
建 物 等 に よ る 事 故		44 (0)	31 (0)	13 (0)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1 (0)	1 (0)	0 (0)
爆 発 事 故		0 (0)	0 (0)	0 (0)
そ の 他 の 事 故		7 (0)	15 (0)	△ 8 (0)
計		62 (0)	59 (3)	3 (△ 3)

※ ()内は高速道路救助出場における救出人員を表す。

※ 高速道路は、名神高速道路上下線、京都縦貫道上下線及び京滋バイパスの一部とする。

(4) 発生場所別出場件数及び活動件数

件数区分 発生場所			令和6年		令和5年		増減(△印減)	
			出場件数	活動件数	出場件数	活動件数	出場件数	活動件数
屋内	住居		46	45	36	32	10	13
	その他の屋内		2	1	2	2	0	△1
屋外	道路	高速道路国道	4	0	3	2	1	△2
		その他の道路	7	4	8	6	△1	△2
	水面	内水面	0	0	2	2	△2	△2
		外水面	0	0	0	0	0	0
	山岳		2	1	7	7	△5	△6
	その他の屋外		16	11	12	8	4	3
	地下		0	0	0	0	0	0
その他		1	0	1	1	0	△1	
計			78	62	71	60	7	2

※ 内水面－河川・湖沼・池・プール等内陸における水上又は水中(ただし、河川敷やプールのシャワー室等は含まない。)

※ 外水面－上記以外の水上又は水中

4 救急統計

(1) 事故種別出場件数及び搬送人員

年別等	令和6年		令和5年		増減(△印減)	
件数等 事故種別	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火 災	6 (0)	4 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
自 然 災 害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
水 難	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	△ 1 (0)	0 (0)
交 通 事 故	486 (12)	449 (10)	536 (15)	508 (19)	△ 50 (△ 3)	△ 59 (△ 9)
労 働 災 害	54 (0)	54 (0)	76 (0)	76 (0)	△ 22 (0)	△ 22 (0)
運 動 競 技	85 (0)	85 (0)	96 (0)	95 (0)	△ 11 (0)	△ 10 (0)
一 般 負 傷	1,454 (0)	1,331 (0)	1,351 (0)	1,231 (0)	103 (0)	100 (0)
加 害	20 (0)	16 (0)	20 (0)	18 (0)	0 (0)	△ 2 (0)
自 損 行 為	62 (0)	46 (0)	64 (0)	49 (0)	△ 2 (0)	△ 3 (0)
急 病	5,236 (2)	4,874 (1)	5,229 (3)	4,750 (1)	7 (△ 1)	124 (0)
そ の 他	507 (2)	397 (0)	563 (1)	433 (0)	△ 56 (1)	△ 36 (0)
計	7,910 (16)	7,256 (11)	7,942 (19)	7,161 (20)	△ 32 (△ 3)	95 (△ 9)
一日平均件数	21.6	19.8	21.8	19.6	△ 0.2	0.2

注：()内は高速道路救急出場件数及び搬送人員を表す。

(2) 年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	急 病	交通事故	一般負傷	その 他	計
新 生 児	5	0	0	0	5
乳 幼 児	278	11	114	8	411
少 年	131	39	40	57	267
成 人	1,203	249	170	247	1,869
高 齢 者	3,257	150	1,007	290	4,704
計	4,874	449	1,331	602	7,256

※ 新生児：生後28日未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

少年：満7歳以上満18歳未満

成人：満18歳以上満65歳未満

高齢者：満65歳以上

(3) 事故種別傷病程度別搬送人員

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その 他	計
急 病	82	324	2,155	2,313	0	4,874
交 通 事 故	1	19	59	370	0	449
一 般 負 傷	3	114	403	811	0	1,331
そ の 他	3	46	371	182	0	602
計	89	503	2,988	3,676	0	7,256

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので、重症に至らないもの

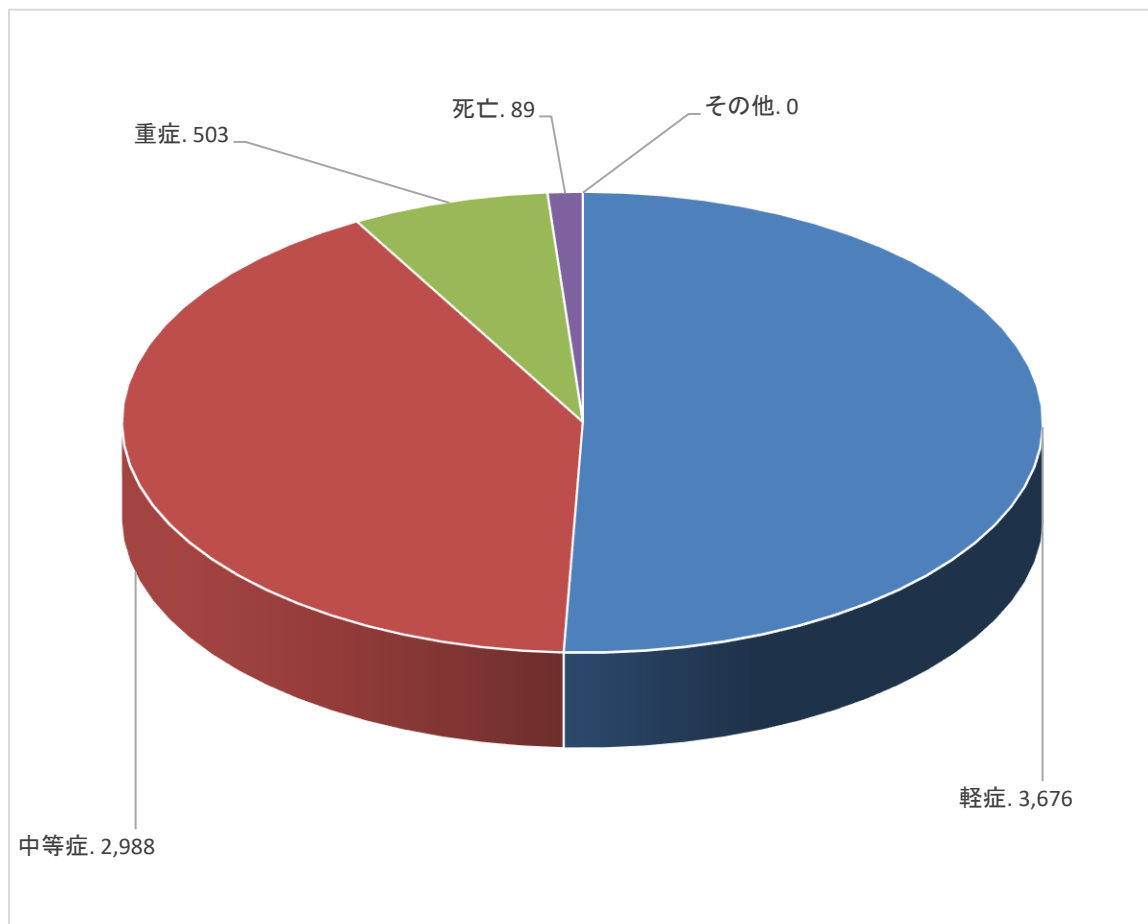
軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの

その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所（接骨院等）」へ搬送したもの

(4) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡	0	1	0	8	80	89
重症	0	6	3	67	427	503
中等症	3	77	55	492	2,361	2,988
軽症	2	327	209	1,302	1,836	3,676
その他	0	0	0	0	0	0
計	5	411	267	1,869	4,704	7,256

(5) 傷病程度別搬送人員



(6) 市町別出場件数

事故種別 地域名		急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
向 日 市	6年	1,965 (0)	194 (0)	537 (0)	217 (0)	2,913 (0)
	5年	2,006 (1)	227 (0)	486 (0)	220 (0)	2,939 (1)
増 減 (△ 印 減)		△ 41 (△ 1)	△ 33 (0)	51 (0)	△ 3 (0)	△ 26 (△ 1)
長 岡 京 市	6年	2,721 (1)	229 (2)	779 (0)	467 (1)	4,196 (4)
	5年	2,701 (0)	223 (2)	707 (0)	551 (0)	4,182 (2)
増 減 (△ 印 減)		20 (1)	6 (0)	72 (0)	△ 84 (1)	14 (2)
大 山 崎 町	6年	538 (0)	40 (5)	135 (0)	44 (1)	757 (6)
	5年	516 (2)	63 (5)	148 (0)	50 (0)	777 (7)
増 減 (△ 印 減)		22 (△ 2)	△ 23 (0)	△ 13 (0)	△ 6 (1)	△ 20 (△ 1)
京 都 市	6年	11 (0)	19 (1)	3 (0)	5 (0)	38 (1)
	5年	6 (0)	14 (0)	9 (0)	5 (1)	34 (1)
増 減 (△ 印 減)		5 (0)	5 (1)	△ 6 (0)	0 (△ 1)	4 (0)
島 本 町	6年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	5年	0 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)
増 減 (△ 印 減)		0 (0)	△ 1 (△ 1)	△ 1 (0)	1 (0)	△ 1 (△ 1)
そ の 他	6年	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
	5年	0 (0)	8 (7)	0 (0)	0 (0)	8 (7)
増 減 (△ 印 減)		1 (1)	△ 4 (△ 3)	0 (0)	0 (0)	△ 3 (△ 2)
合 計	6年	5,236 (2)	486 (12)	1,454 (0)	734 (2)	7,910 (16)
	5年	5,229 (3)	536 (15)	1,351 (0)	826 (1)	7,942 (19)
増 減 (△ 印 減)		7 (△ 1)	△ 50 (△ 3)	103 (0)	△ 92 (1)	△ 32 (△ 3)

注：()内は高速道路救急出場件数を表す。

(7) 消防署別出場件数

事故種別 消防署名		急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
向日消防署	6年	1,758	162	486	207	2,613
	5年	1,793	181	441	220	2,635
増減(△印減)		△ 35	△ 19	45	△ 13	△ 22
長岡京消防署	6年	1,609	141	490	282	2,522
	5年	1,640	145	416	284	2,485
増 減 (△ 印 減)		△ 31	△ 4	74	△ 2	37
東 分 署	6年	911	104	261	93	1,369
	5年	893	107	237	126	1,363
増 減 (△ 印 減)		18	△ 3	24	△ 33	6
大山崎消防署	6年	958	79	217	152	1,406
	5年	903	103	257	196	1,459
増 減 (△ 印 減)		55	△ 24	△ 40	△ 44	△ 53
合 計	6年	5,236	486	1,454	734	7,910
	5年	5,229	536	1,351	826	7,942
増 減 (△ 印 減)		7	△ 50	103	△ 92	△ 32

(8) 救急隊員が行った応急処置状況

処置事項	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
	応急処置対象人員	4,874	449	1,331	602	7,256
止 血		18	15	89	17	139
固 定		6	84	67	24	181
人 工 呼 吸		20	0	3	1	24
心 マ ッ サ ー ジ		1	0	0	0	1
心 肺 蘇 生		117	1	5	5	128
酸 素 吸 入		942	21	53	142	1,158
気 道 確 保		171	2	11	10	194
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ	3	0	0	0	3
	喉 頭 鏡 、 鉗 子 等	5	0	2	0	7
	ラ リ ン ゲ ア ル マ ス ク	33	1	1	1	36
	気 管 挿 管	11	0	0	1	12
保 温		138	8	31	23	200
被 覆		12	102	298	37	449
在 宅 医 療		119	0	17	4	140
ショックパンツによる血圧の保持		0	0	0	0	0
除 細 動		6	0	1	0	7
静 脈 路 確 保		51	1	1	2	55
薬 剤 投 与		35	0	1	2	38
そ の 他 の 応 急 処 置		4,814	446	1,317	596	7,173
血 圧 測 定		4,640	442	1,265	594	6,941
聴 診 器 に よ る 聴 取		2,615	174	484	220	3,493
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定		4,759	444	1,322	598	7,123
心 電 図 測 定		1,824	37	127	123	2,111
計		20,288	1,777	5,092	2,398	29,555

注：1 一人につき複数の応急処置を行う事もあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の係数とは一致しない。

注：2 拡大された応急処置のうちショックパンツと自動式心マッサージ器は積載していない。